

《 予防接種を受ける前に 必ずお読み下さい》

高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種説明書

1 新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症にかかった人の咳やくしゃみにより、空中に広がったウイルスを吸い込むもしくは、かかった人の目や鼻、口に直接的に接触することにより感染します。

症状としては、発熱や咽頭痛・咳などの呼吸器症状が中心で、特に、高齢者や基礎疾患のある方が感染した場合は、重症化するリスクが高いことが報告されています。

2 新型コロナウイルス感染症の予防

感染対策として、「マスクの着用を含めた咳エチケット」や「手洗い（手指消毒）」、「換気」等が効果的です。また、①人ごみを避ける ②十分な栄養や休息をとる ③室内を加湿するなども感染予防になります。

3 新型コロナウイルス感染症の予防接種の有効性

ワクチン接種には、発症予防や重症化（入院）予防効果があることが国内外の多くの報告で確認されています。また、既感染者であっても再感染する可能性はあり、ワクチン接種による追加の発症予防効果が得られることも確認されています。

4 接種対象者

- ① 65歳以上の人
- ② 60歳以上65歳未満の人で、心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある人、及びヒト免疫不全ウイルス（HIV）により免疫機能に障害のある人（心臓や腎臓、呼吸器の病気、免疫機能に係る身体障害者手帳1級相当）です。

※接種を受けることは義務ではなく、本人が希望する場合にのみ予防接種を行います。

5 予防接種を受ける前に

（1）一般的注意

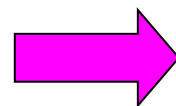
新型コロナウイルス感染症の予防接種について、気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に医師に相談しましょう。

予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。基本的には、接種を受けるご本人が責任をもって記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。

（2）予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱のある人（一般的に、体温が37.5℃を超える場合）
- ② 重い急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 新型コロナウイルス感染症の予防接種に含まれる成分によって、接種後30分以内にひどいアレルギー反応（全身のじんましん、顔の腫れ、呼吸困難、嘔吐、血圧の低下など）を起こしたことがある人

裏面もご覧ください



- ④ 本人の接種希望の有無が確認できない場合
- ⑤ その他、医師が不適当と判断した場合

(3) 予防接種を受けるに際し、担当医師との相談が必要な人

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液疾患、その他慢性疾患で治療を受けている人
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーを疑う異常が見られた人
- ③ 今までに、けいれんを起こしたことがある人
- ④ 今までに、免疫状態の異常を指摘されたことがある人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の予防接種の成分にアレルギーを呈するおそれのある人
- ⑥ 抗凝固療法を受けている人及び血小板減少症又は凝固障害がある人

6 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）と、すぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- ③ 接種当日は、激しい運動や大量の飲酒は避けてください。

7 その他

① 副反応が起こった場合

予防接種後の副反応は、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等様々な症状が確認されていますが、ほとんどが軽度か中程度であるといわれています。予防接種を受けた後数日以内に、全身のじんましん、顔の腫れ、呼吸困難、嘔吐、血圧の低下、胸痛、発熱、ぐったりするなどの症状が現れたら、すみやかに医師（医療機関）の診療を受けてください。

② 予防接種健康被害救済制度

新型コロナウイルス感染症の予防接種による健康被害に対し、厚生労働大臣が予防接種との因果関係を認定した場合、町では健康被害に対して給付を行う制度があります。

③ 予防接種を受けない場合

医師の説明を十分聞いた上で、ご本人が接種を希望しない場合、当日の身体状況等により接種しなかった場合等においては、その後新型コロナウイルス感染症にかかったり、かかったことにより重症化した場合においても担当した医師にその責任を求めることはできません。

- ④ 他の予防接種との接種間隔の規定はありません。

◆ ご不明な点は お問い合わせください ◆

伊奈町健康増進課（保健センター）

電話 048-720-5000（土日祝日を除く）

